



鳩吹山 313m

織田、伴野、市橋、水野、柴橋、中村



▲ 鈴鹿は藤原岳の雪山を計画していたが、北陸や関ヶ原地域の大雪の後、西藤原駅周辺から藤原岳駐車場辺りは 30 cm の積雪で車は入れないとのこと、急遽、可児の鳩吹山へ変更した。

▲ 風もなく、穏やかな薄曇りの一日、R41 を北進、湯の華市場の登山者用駐車場へ車を止めて、カタクリ登山口から入山。8：45 出発、取り付きは、冬枯れの明るい雑木林をひたすら登る。1 時間ほどで立派な標識の建つ頂上へ着く。麓に湯の華市場など観光施設があり、手ごろな遊歩道がきれいに整備されていることから、登山者は多い。単独の高齢者、家族連れ、2～3 人のグループが多く、我々 6 人ものパーティは見当たらない。

遥に御岳山が銀色に輝き、右手には中アの山並みが遠望できる。山が浅いことから足元には、一面に



広がる住宅地が迫り、日本ラインの木曾川と蛇行する可児川も風情がある。小さなピークを登下降して西へ向かい、西山のピークから周回して麓の広大な墓地・鳩吹苑へ降りた。あとは車道をテクテクと歩き 13 時過ぎに駐車場へ着いた。

▲朝は、集合時間より随分早く着いたため、周辺の史跡「土田城趾」の石碑を眺め、大脇公民館の横から草に埋もれた道を可児川に沿って奥へ歩く。足下には狭い峡谷の見事な景色が続く。



時間の余裕のある時にじっくり歩いてみたい穴場だ。信長の生母、土田御前の像も建っている。

——記録：織田



▲雪山は美しい。厳冬期の穂高、神々しいまでの美しさは、危険な怖さを秘めているが故か？ 一方鈴鹿の

山々は楽しく優しい。県境尾根ゆえに 1000m そこそこでも積雪が多く、花崗岩の山肌は、アルペン的な様相を備え、岳人を引き寄せ、雪に遊び、雪に慣れ、雪山の生活が身に着いた時、別の世界が広がる。非日常が日常に近づいて来る。ただし、鈴鹿の雪は直に消える。楽しむときは短い。雪山は春の親睦山行、大日ヶ岳までお預けか！

春の親睦山行

2月24(土)・25日(日)

民宿「五郎平」

郡上市高鷲町 0575 72-5209



参加予定
7人
水野、市橋、
織田、中村、
柴橋、酒井、
沖